

# サロンのあべの

VOL.150

## 音の美学

サロン・あべの11月の出会い

98年11月21日(土)、育徳コ

ミュニティセンター2階研修室

において、(サロン・あべの)

11月の出会いを開催しました。

今回は、(サロン・あべの)

発足当初からの運営委員であり、

本紙に「作る つくる 創る」

を連載中の、河合恵子さんに、

お話しをしていただきました。

この日のテーマ「香りの美学」

は、「香りの美学」と言い替え

ることができません。難しいこと

ではなく、香りの楽しみ方としての「香りの美学」を、伝授していただきました。

香りを感じる嗅覚は、人間の

五感の一つです。「香り」と聞

いて連想されるものに、「花」

「香水」「ハーブ」「香」など

があり、人によって様々です。

最近、アロマテラピーが流行し

ているように、香りは、人間の

心身に影響を与えることが分か

っています。

クレオパトラを始めとする歴

史上の多くの人物も、香りを好

み、香りにまつわる話を残し

ています。ちなみに、日本で初

めて「香」を楽しんだ人物は、

聖徳太子だと言われています。

人間がその五感で楽しむもの

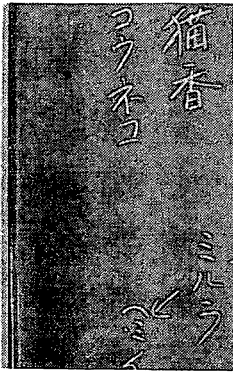
に、視覚で楽しむ芸術、聴覚で

楽しむ音楽、味覚で楽しむ料理

などがあります。そして、嗅覚

を使って楽しむものが、「香道」

なのです。



日本の「香」は、聖徳太子の時代に始まり、「法隆寺」「蘭奢待」と命名された香木が、現代にまで伝えられています。平安時代には、薫香をたき合せ、部屋や衣に染み込ませて楽しんでいました。鎌倉時代に入り、

### お知らせ

<サロン・あべの>1月の出会い

日時 1月16日(土)午後12時～

場所 中国料理「杯杯」

天王寺区上本町6-3-31  
うえほんまちハイハイタウン3階

内容 「優しい出会いを求めて

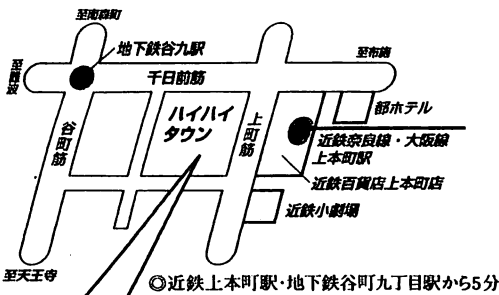
いつでもサロンは新しい」

会費 3000円

締切り 平成10年12月末日

お申込みとお問合わせ先

TEL 06-691-1028 (富田)



中国料理  
**杯杯**

大阪市天王寺区上本町6丁目3-301  
うえほんまちハイハイタウン3階

TEL.772-8100

芸術を愛好保護した足利義政は、華道、茶道と共に、香道をも発展させました。東山文化と呼ばれている時代のことです。

代表的な香木に「六国五味」があります。「伽羅」「真南蛮」「真那伽」「佐曾羅」「寸門多羅」「羅国」の6種類に、「新伽羅」を入れる場合もあります。香木をたき、その香りをかぐことを、香りを聞くといいです。また、種類の違う香木をたき、

その順番を言い当てる遊びを、「組香」と言います。そこで、最後に参加者全員で、「組香」体験をさせていただきます。

香炉に灰を入れ、その中央に、火の付いた小さな炭団を沈めます。炭団の上に銀葉を敷き、その上に、香木を置きます。香木は、燃やしてしまうのではなく、熱を加えて、くべるだけです。本来は、もう少し難しい流儀にのっとって行われるものです。

伽羅を一つ。真南蛮を二つ。合計三つの香炉を用意します。その香炉を一つずつ順に回して行きます。答えは、伽羅を花に例えることによって、最初に回って来た炉を伽羅だと思えば、朝顔。二番目だと思えば、昼顔。三番目だと思えば、夕顔と答えるのです。簡単そうに思えますが、以外に難しく、正解率はあまり高くありませんでした。

参加者19名。(上平幸雄)



「はなをくんくん」という絵本がありました。よい匂いや香りには人の心をほっとさせる安らぎを感じます。身近な香り、自然の香り、そしてその人だけの大切な香り……。密やかな香りの思い出も、そっと紐といてみませんか。今月はそれぞれの思いで、「香り」を書いていただきます。

題字「香」は中西利香さんの書です。

大変なワインブームです。

94年3月、「空飛ぶソムリエ、サロンに「着陸」と題して、初めてへサロン・あべのを訪れた際、まず説明しなければならぬのは「ソムリエ」なる言葉でした。今や、そのものずばり「ソムリエ」という人気番組が存在し、また、私が90年に社内4番目に取得したソムリエ資格も、今夏の合格者を含めると、取得者数は何と800名を超えている状況になりました。

ワインの中には、香りの成分が1500〜2000種類もあると言われています。

もちろん一つひとつがオレンジの香り、メロンの香り、というのではなく、リンゴの

ワインの香り  
中村真典



香りといってもそれだけで数百の成分から成り立っていますので、数はあくまで化学的な分類結果に過ぎません。ガス・クロマトグラフィーという香りを分析する機械を使うと、その分析値とデータで、オレンジやメロンといった複合的な香りはある程度分類できるそうです。しかし、例えばリンゴの香りだとしても、そのリンゴの色だとか成熟度合いは、人間の感性と表現力なしには到底わかりません。

最近のワインブームの中で、テーブルがしばしばウンチク合戦の場になっているのは残念なこと。香りの表現にしても、フルーツのたとえはともかく、「森の下草」「湿った土」などよく聞く表現は、本当に自分で嗅いだことがあるのでしょうか。「発酵温度が高すぎて、香りが弱い」だの、「新樽の比率が低く、香りの深みがない」などと聞いていると、ワインがかわいそうになってきます。

ウツ病のワイン通が、ある白ワインの香りをコメントします。

「甘いような、ゴムが焼けたような、すえた変な臭いが鼻をつく」

私が全く聞こえないふりをして、同じワインを表現します。

「わずかに花の蜜やフルーツの世界を感じさせ、また、スモークしたような香ばしさの中から、バターを思わせる柔らかな酸味を内包していることが見えてきます」

単なる仲人口？ いえいえ、ワインが大好きだからこそ、そのよさがはつきりわかるのです。そして、それをできるだけ多くのみなさんに伝えたいのです。

(日本航空客室マネジャー/ソムリエ)

はじめての香水  
出口美和



中学一年の夏。  
九州に住んでいた祖母の家に寄ったとき、

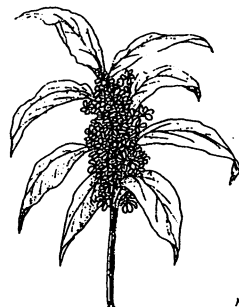
あまり時間がなくすぐに出発しなければならなかった。帰り際に、祖母が気ぜわしくハンカチを手渡ししてくれた。そのハンカチは青地(あおじ)の大人用で、見るからに男物のデザインだった。「地味なハンカチ……」と思いながらも礼を言っただけ。そのハンカチはポケットになおすこともないまま、ただ手に持ち続けていた。何かの拍子にふとハンカチを顔のところへもっていくと、今までににおったことのない匂いがした。それは石鹸のものではなく、甘い香りだった。これが香水に出会った瞬間で、大人になったような不思議な気分になったのを覚えている。

明治生まれの祖母が中学生の孫に、急いで手近にあったさらのハンカチに香水をふって渡すなんて、今から思えば粋な人だったんだと。香水を身だしなみにする年齢になってから、祖母のことを感じる思い出になっている。

### サロンの絵はがき

一組五枚セット一五〇円

キンモクセイ  
表谷恵美子



香り……というキンモクセイを思い浮かべる方がきつといらつしやるでしょう。

私も、秋の初め、街角であの甘い香りに出会うと金いろの小さな花をさがして、あちこち見まわしてしまいます。

そして、中学の頃に観た宝塚歌劇(那智わたる全盛の頃……フルイーと言われるかな)の「モクセイの花の香りにむせて君のやさしき肩にすがれば……」という歌を口ずさみたくくなります。文字通りむせかえるような強い香りはニガテな方もいらつしやるかも知れませんが、暑さに弱い私にと

って、やっと長い夏が終わり涼しい秋風を  
約束してくれる、季節の嬉しい便りでもあ  
ります。

幸せの「匂い」

藤村美登利



「香り」 うぐん そんな美しい響きの  
ものとは、最近、遠ざかっているようナ。  
4月に春人<sup>はると</sup>を出産して以来、バタバタと  
した毎日を送っています。

私の鼻に感じるのは「匂い」。

最近の発見は、オッパイの匂いは赤ちゃん  
が飲んですぐより、飲んでしばらくして

からの口から、いい匂いをさせること。

あと、ウンチやおシッコの匂いにも敏感  
になって、パパは気付かず遊んでいても、  
私が「あつ」と思って、オムツを開けると  
大正解。オッパイ以外のものも食べるよう  
になって、彼が出す匂いも大人のものにな  
ってきました。

現在、バタバタとした毎日の中で、かい  
でいる「匂い」が、私の幸福の香りでしょ  
うか。

風の香り  
南光龍平



今、私は電動車椅子に乗る練習を少し頑  
張っています。今までは手動の車椅子を足

で蹴って前へ進んでいく「歩き方」で、そ  
れでも電動車椅子に負けないくらい結構テ  
ンポよく動き回っていたのですが、やはり  
と言うべきでしょうか歳のせいで足や腰や  
らが痛くなってきた。「ポツポツ電動車椅子  
に乗る時期かな」と思っていました。

折しも、私が仕事をしている自立生活セ  
ンター・ナビで自立生活プログラムのテーマは、  
「爽やかな風の吹く街へ出掛けよう」電動  
車椅子に乗って」。初め「これだけスムー  
ズに動けるなら私は手動で参加してもいい  
だろうな」と高をくくっていたのですが、  
世の中そんなに甘くはなく「プムグラムの  
リーダーが手動に乗っているのはおかし  
いよ」ということで、急ぎょ電動車椅子の特  
訓を始めなければならなくなったのです。  
皆んながスイスイ動いているのを見て  
「こんな事、簡単、簡単、爽やかな風の香  
りを嗅いでカッコ良く行つたら」と思った  
のはホンの数秒。実際電動車椅子のレバー  
を握ってみると、あちらへフラリ、こちら  
へフラリ。向こうの壁にゴーン、道端の電

信柱にドーン。風の香りを感じるどころか、周りと話をする事も出来ないような悲惨な有様なのです。おかげで、冷や汗やあぶらあせの香り(匂いという表現の方が正しいでしょうが…)はしつかり嗅ぐことだけは出来ました。

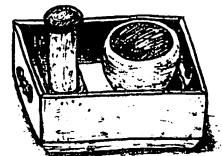
しかし、それからしばらくしたある日、少しは慣れてきたのでしょうか、相変わらずの「千鳥足運転」ながら、ふと晩秋の心地よい風と一緒に金木犀の香りを感じる事が出来た瞬間があったのです。そのあと公園で休憩してほおっと深く息を吸い込んだ、その時の爽快さは何とも言えませんでした。

まだまだ運転の方は「わかばマーク」にも程遠く、走りながら風の香りを胸一杯に感じるには時間が掛かりそうです。余裕でスイスイと電動車椅子で動き回れる頃は、もう周りは金木犀の香りがかすかすると若葉の香りなんかに変わっているかも知れませんが…。



くゆるけむりに

奥田陽子



ほほに受ける金木犀の香りとともに、少し冷たい風に秋の深まりを感じながら…

一日が始まり、ふと足を止めると、その街が混沌一体となって放つ、その街の匂いつてあるんだなと思うのです。

昔暮らしていた街や田舎(古里)に佇んだ時、その街の懐かしい匂いが、心をとらえたりもします。また、街には、その時々に変わりゆく匂いもあるでしょう。たとえば、黄昏時のなんとなく胸がキュンとなるのは、夕方の陽のひかりとともに特定できないなんだからわからないのだけれども、匂いを感じるせいかもしれません。

衣替え、箆筒の中、母の着物を見つけ、母の匂いを思い出す。ふと、娘は、私の匂いをどう感じているだろうか…くゆるけむりの匂いだろうか(ヘビースモーカーなので)：

月いつもぶかぶか：月なんて、そんな唄があったなあーと考えていたら、タバコが灰皿からポトンと机にころがり、あたふた：幸い、机も原稿も焦がすことなく無事終了！

カキ

栄養の豊富さから「海のミルク」と呼ばれるカキ。造血作用の促進、貧血の予防、コレステロールや中性脂肪の調整。糖尿病や肝炎の予防などに効果が高い。  
なにがなんでも「かるた」です。

饅付き かるた 五両

この一年をふり返って

早いもので今年もあとわずか  
で終わろうとしています。この  
一年をふり返ってみますと公私  
ともにいろんなことがありまし  
た。そんな中で忘れられないの  
が、この「サロン・あべの」紙  
との出会いです。

九月の中頃でしたか、富田慶  
子さんからシリーズで原稿を書  
いてほしいと依頼された時、最  
初のうちはどうしようかと困惑  
いたしました。それというのも  
善甫道子先生から「サロン・あ  
べの方にはみんな知的でレベル  
の高い人ばかりですよ」と、お  
聞きしていたからです。そうい  
う知性と教養にあふれた人たち  
の会報に私の文章などとても載  
せられません。それですぐにお  
断りしようと思ったのですが、

## 晴れのち晴れ

③

稲垣 恵雄

「ちょっと、待てよ」と、考え  
方を変えました。せっかく、言  
って下さっているのだから、未  
熟な文章でも載せてもらって、  
みなさんに批評やアドバイスを  
して頂ければ勉強になるじゃな  
いかと思い、お引き受けいたし  
ました。

このような次第で、どんな些  
細なことでも結構ですので、拙  
文をお読みになって感じられた  
ことをお聞かせ願えれば幸甚で  
す。

今は亡き作家で評論家の亀井  
勝一郎氏が、「人生の最高の倅  
せは邂逅である」と言われてい  
ます。正直いって、この一年私  
にとって嫌なことがいっぱいあ  
りました。でもこうしてみなさ  
んに出会えたことが、亀井氏の  
言われるように、何よりの倅せ  
に思っています。

朗読テープのご案内  
朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、  
Aサロン・あべのV紙一四九号の録音テー  
プ(六〇分)が出来ました。

朗読テープ文庫

1. Aサロン・あべのV紙は、第一号よ  
り一四九号までそろっています。(五〇  
号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、  
一〇〇号は、一二〇分テープ二本)
  2. Aサロン・あべのV十周年記念誌  
「はあとが、はろー！」(九〇分テー  
プ二本十一二〇分テープに収録)
  3. 絵本「未知の記憶」(作画・中川勝彦)
  4. 「ラジオたんば」放送『Aサロン・  
あべのV平成七年五月の出会い』放送分  
(三〇分)
  5. エッセー集「逃げたヨナク」ボラ  
ンティア活動の周辺(岡本栄一著・  
表谷恵美子音訳)
  6. 「キミたちだけじゃ困るんだ」身障  
者だけで旅した十余年(山田誠一著・  
2003著・糸でんわ音訳)
- いずれもご希望の方には、ダビング、ま  
たは貸出しをしますので、富田までお申し  
出ください。(806-6191-10218)

## ピア・カウンセリングを考える

—ありのままの自分を受け入れ、  
生き生きした生活を送るために—

9

伊藤智佳子

### 3. ピア・カウンセリングの技術

(2) 再評価のカウンセリングの一つの手法としての「感情の解放」②

パーソナリティは、疾病の役割について、その性質を、

①病人は普通の社会的義務を免除され、健康な人と同じ行為を期待されない、

②病人は好んで病気になってはいけない。

仮病の人や心気症の人は、本当の病気というより、疾病の役割を操ろうとする人

である。自発的に受け入れた病役は、期待を裏切り、病人に対する他者の義務を変化させる、

③疾病の役割は好ましくない社会的地位であるが合法的なものと認められる、

④病人は療養のために援助を求めて当然である。

と四つに分類している。つまり、典型的な期待に対する典型的な反応が役割であるといえよう。

前号で、「障害をもついても〇〇だわね」という周囲の言葉により、障害者はその言葉通りの役割を演じることを期待されると記したが、とくに問題としたいことは、

「障害をもついても〇〇だわね」という言葉の裏にある障害者は障害者らしく振舞うべきだという、障害者であることへの役割期待である。つまり、障害者は、他者が障害や障害者に対して持つイメージ通りに振る舞うことを期待され、周囲からその期待にそむかないように無言の要求をされているということである。障害者であることへの役割期待により知らず知らずのうちに、障害者は本来の自分とは違う自分を演じる場合がある。そのなかで、「障害をもつ自己」と「本来の自己」の間起こる矛盾から疎外感、無力感、自己否定などに陥りやすい。役割期待や外的・内的抑圧から生じる無力感や疎外感から自己を解放するためには、過去に閉じ込めてきた感情をピア・カウンセリングという安心できる空間で、再評価のカウンセリングの一つの手法としての「感情の解放」を用いて行うことが必要となる。

②

P・スピッカー著、西尾祐吾訳『ステイグマと社会福祉』、誠信書房、1987年、75～83ページ

【わが国におけるピア・カウンセリングの現状】

前号(VOL. 149号)では、再評価のカウンセリングの一つの手法としての「感情の解放」が障害をもつ自己を受容する段階でどのような役割を果たすのかを中心に整理するつもりであったが、紙数の都合上最後まで整理することは出来なかった。今回は、前号に引き続き、役割ということについて整理し、「感情の解放」が障害受容の過程で果たす役割について考えてみたい。



## ★心の傷は見えない

社会福祉学科の教員は、多くの人の前で病気や障害のある人について語る人が多い。たとえば、足のリハビリテーションを目的として地元から離れた施設に入所した人が、足の機能はある程度回復したけれども、家族や地元の友人たちとは疎遠になったという話がある。

その話を講義のなかでしようと思いついて、口を開くと、聴いている学生たちのなかに松葉杖を使う人がいることに気づく。彼女も、ひよつとして同じような体験をしたのかもしれない。私のこれから言うことが彼女を傷つけるかもしれない。一瞬そのことを思い、話のなかでの障害の種類を変えてしまった。

障害にまつわる生活の困難や辛さを、障害のある人の前で話すのは難しい。話すまでもなく当人のほうがもっと知っているからである。しかしながら教室にいる学生は、そんな体験のない人

が大部分だから、社会福祉の講義である以上、それを語らざるを得ない。

障害者への差別の問題も、語るときには十分な注意が必要だ。言い方によっては差別があることを、そのまま認めているような印象が出てくる。



差別的な言葉を使ってはいけないうはもちろんだが、言葉だけではなく、その語る調子も大切だ。不適切な笑いは誤解を招くし、冗談めかした言い方も文脈によっては当事者を傷つける。

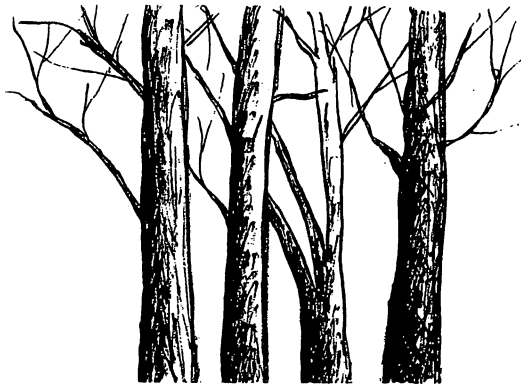
しかし、目に見える障害については、

これほど注意しているのに、心の傷には配慮を忘れがちである。

たとえば、私はアルコール依存の人たちのグループにボランティアとして通っていた。そこでは精神病院で治療を受けた人たちが、もう二度とお酒を飲まないために話し合う。酒のために職を失い、家族を失い、ときには故郷さえ失ってしまった人たちが、その体験談はまるで笑い話のように、おもしろおかしく語られていた。その一部を私は授業で紹介したのである。

無一文になったが、それでも酒が飲みたくて夜中に墓場に出かけ、墓前にそなえられた酒を飲んだ話。そのときアルコールによる妄想が出て墓場で一人叫んでいた。それから入院しても、やっぱり酒が飲みたくて、病院の食事のパンを牛乳瓶につめ、自分の体温で「醗酵」させて酒をつくったという。そのユーモラスな語り口が耳に残って

## 「樹医」山野忠彦先生を偲ぶ 2



山口康二郎

○山野先生の偉大な業績

△略歴▽ 明治33年(1900年)大阪に生まれる。3歳のときソウルに渡る。ソ

いて、私は、それが伝わるように話したものだ。  
しかし、あるとき、いっしょになって笑った学生たちのなかに、自分の父親や母親、あるいはきょうだいの誰かが、やはり酒びたりの生活をしていて、そのためにずいぶんと苦しんできた人

がいたかもしれないと思うと心が痛む。いっしょになって笑わなければ、まして涙ぐんでしまえば自分の家族のことを周囲に知られてしまう。辛い思いを隠しながら無理にでも笑っていたのかもしれない。

心の傷は見えない。だからこそ私た

ウルで高校を卒業後、中央大学に入学するも中退。ソウルで放蕩三昧し破産、無一文から山林経営を手掛け大成功、樹木に興味を持ち研究をはじめ。

戦後引き上げ、神社・仏閣の古木・老木が病んでいるのを見て、公園の入夫、夜警などをしながら独学で樹木の治療法を研究し、日本最初の「樹医」になる。全国の1200本以上の名木・古木を治療し、1本も枯死させていない。

アメリカの樹の保護団体・国際樹木協会の日本初の会員。昭和61年、朝日森林文化賞、63年第22回吉川英治文化賞、関西大賞さわやか賞など数々を受賞。

業績を上げれば枚挙に暇がない。「1200本の中で最も印象に残っている

ちには見える傷に対する以上に細やかな心使いが必要だろう。心の傷をさらに傷つけられても、それを語る事ができず、笑って耐えている人がいるのである。(知)

「作る つくる 創る」はお休みです。

「作る つくる 創る」はお休みです。

「どの木も一つひとつの違い、治療法も違うので、すべて覚えていきますよ」という答が返ってきた。

「私が今すぐにも行って見られる木はどこでしょう」

「それなら御堂筋のイチヨウ並木を見に行きなさい」

と言ってイチヨウにまつわる話をしていただいた。

治療のきっかけは北陸方面へ木の治療に行った時、大阪へ商用でよく出掛けるという人から「御堂筋のイチヨウが年々小さくなっていく」と聞いたことから始まる。

帰阪後実際にイチヨウを見てその理由がよくわかった。イチヨウが次々と枯れるた

.....  
バリアフリーサロン「グリーン」  
サロン会員募集  
.....

ハーブティーを飲みながら、楽しく、気軽に、なんでも話し合える会に参加しませんか？...

年齢、男女を問いません。  
人数は10名前後...

日時；毎月第4水曜日  
昼の部=14:00-16:00  
夜の部=19:00-21:00

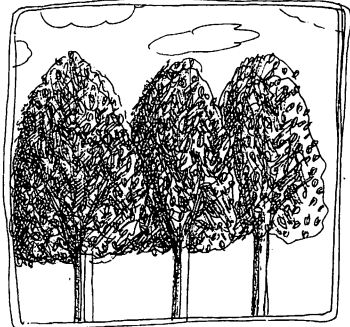
会費；1000円(お茶代含む)  
担当；心の相談室・桃谷ルーム

代表=山口康二郎  
カウンセラー=山口佳代子

場所；ギャラリー・グリーン  
(JR駅桃谷駅から徒歩5分)

☆「楽しい心理学入門」講座や、  
カウンセリング体験、エンカウンター・グループなど、ご希望の方もお電話ください。

お問い合わせ先；  
TEL06-773-0405



め、どんどん新しい若木に植え替えられていたためだった。折しも大阪市から治療依頼があった。枯れる原因は排気ガス、道路の舗装、地下鉄などで地下水がないなど悪条件が重なっていた。しかし出来る限りの治療を施し、以後毎年の暮れにはイチヨウに会いに行つて無事を祈っているとのこと。私が、最も胸を打たれたのは「原爆エノキ」の話である。広島に原爆が投下された時、爆心地から1kmしか離れていない基町に、南半分の幹が黒こげになりながら北半分の枝が伸び、歴史の証人として市内の平和学習の生きた教材として大切にされてい

たエノキが、59年8月の台風で地上3mのところまで折れてしまった。小学生達は必死になって世話をしたが芽は出ず、先生に治療依頼があった。数珠を片手に治療をはじめた。土壌の改良、防腐剤を塗ったり、栄養剤の注射をしたところ、翌春15コの新芽が吹いた。地元の新聞のみでなくこれは全国紙にも紹介された。それが返つてあだになつてしまった。「蘇つた原爆の木」として、皆が水をかけた。「直接根にかけないで、幹から流すようにやってほしい」と言つたはずなのに、大抵の人は根本にやつてしまった。しかも皆、善意の水であつたが、

毎日毎日たつぷり水をかけられた新芽はついに根腐れしてしまった。  
私が草木の話をするとき、まず水のやり方から話しはじめるのはこの教訓からである。  
感謝  
カンバ、お茶菓子、冊子などのご寄贈、またサロングッズのお買上げ、ありがとうございました  
旭 純子、大西暉子、  
岡 賀寿子、小嶺佐栄子、R・T、  
田村昌子、吉原和郎、その他の方々。

## 美智子のこんな話

岸田美智子

LRTを走らせる会について

大阪の街には、風情ある愛称のチンチン電車と呼ばれる路面電車が走っています。私達車椅子の者も、床が高くて使いづらい思いをしながら利用しています。

この路面電車の存在は最近環境面からも見直されてきて、各地で導入が考えられています。そして、ヨーロッパの街では、この路面電車の構造が低位床型で、路面から殆ど段差なしで乗り込めるように工夫されていて、車椅子やベビーカーなども非常に使いやすくなっています。このような誰で

も使いやすい乗り物として低位床型の路面

電車をこの大阪にも走らせたいと思い、L

R Tを走らせる会を発足させました。

趣意書をご覧になって興味のある方は、

ぜひご参加ください。そして、12月からは

いろいろな学習会も行っていく予定です

までよろしく願います。

磯崎 章一

大阪市旭区赤川1-3-30

TEL 06-921-3616

### 趣 意 書

21世紀の超高齢化社会を目前に控え、障害者や高齢者などすべての市民が安心して暮らせる街づくりが進められようとしています。大阪では交通アクセス運動の成果があり、公共交通機関の本来の使命が再認識され、一人ひとりの市民が自由に安全に楽しめる鉄道、バスシステムづくりが始まっています。その結果、最近では駅にエレベーター設置、バスにリフト導入が着実に実施されるようになりました。

全国に目を転じますと、ノンステップバスが地方都市を中心に盛んに運行される状況となってきました。歩道から乗降口までの段差が少なく低床化されたノンステップバスはまさにバリアフリー時代の新たな乗り物といえるでしょう。このように障害者や高齢者を始めとして、バギー車をおす家族づれや手荷物をもつ人々など、いわゆる移動制約者の移動の自由が尊重され一定保障される社会になりました。

障害の有無や高齢か否かに関係なく、誰もが市民として共に生きる社会をめざすノーマライゼーションの考え方は社会の各方面で実践されるようになりました。公共交通機関のバリアフリーも時代の流れですが、今なお何も変わらない公共交通機関が存在するのも現実です。大阪ではチンチン電車と呼ばれ親しまれている阪堺電気軌道は大阪市内に上町線、阪堺線という路面電車を走らせています。しかし、その旧態依然とした路面電車のイメージは相変わらずで、段差のある狭く危険な停留所、乗降口の2段ステップ、スペースのない車内など障害者や高齢者にとって乗りやすい構造とは決していえない状態です。

一方、ヨーロッパやアメリカの諸都市に

おいては脱自動車化、地球環境問題からライト・レール・トランジット=LRTと呼ばれる新しい時代の低床式路面電車が普及しつつあります。LRTは低床車両の導入により停留所と床面との段差を少なくし、障害者や高齢者でも容易に乗れる都市交通システムであり人気を博しています。日本でも現在19都市20事業者ある路面電車の見直しが始まりましたが、1997年8月に熊本市においてLRTがいち早く導入され営業運転を開始しました。また広島市でも1999年度中の導入が検討されています。日本においてもLRT導入への機運が高まりつつあります。

LRTは従来の路面電車と違って、上述のように障害者や高齢者に利用しやすいばかりでなく、環境問題からは電気を使って大気汚染を抑え、省エネルギーにも対応でき、そして環境への負荷を少なくするなど脱自動車社会の交通機関としても評価されています。

本会ではこのLRTを大阪の街にも走らせたいという夢を実現させるために、関係各方面に働きかけたいと考えています。LRTは低床車両の導入だけでなく、都市計画や道路行政とも密接に関わっており、運行事業者はもとより、大阪府や大阪市などの自治体にも働きかけたり、運輸省や建設省の動向にも注意をはらう必要があります。

大阪の交通システムの変革の中で、手をつけられずにいた路面電車のもつ素晴らしい利便性に光を当てるとともに、そのことにより、交通アクセスのノーマライゼーションの地平線をさらに追求していこうではありませんか。

(大阪にLRTを走らせる会)

# さきみみずきん

金メダル おめでとう！

昨年よりアーチェリー競技に  
精進されていた大北清子さんが、  
11月7～8日に神奈川県で開催  
された第34回身体障害者スポー  
ツ大会「かながわ ゆめ大会」  
に大阪市代表の一人として出場  
されました。結果は私たちの予  
想通りにアーチェリーで金メダ  
ル、そして車椅子卓球でも金メ  
ダルという快挙でした。  
ご本人は「日ごろ練習してい  
る点数が出なくて不本意なんだ  
けれど、二回出場できるから次  
の時は練習の成果が発揮できる  
ようになっていたい。その次は  
オリンピックを目標にと励まさ  
れているので…」

と夢を可能にすべく気持ちも新  
たに練習に励んでおられます。

今年の「ふれ愛びつく大阪」  
では遠くからの出会いでしたが  
今回の「かながわ ゆめ大会」  
では、間近で皇太子ご夫妻にお  
会いでき、雅子様ともお話がで  
きて握手もしていただき、幸せ  
いっぱいの思い出を掌に包んで  
帰って来られたそうです。

大北さんは、これからも夢を  
現実に移されていくことでは  
う。私たちもまた、エールを送  
り続けたいと思っています。

(け)



## これは便利。

贈り物をするときや、本や写真を  
送るときなどにひとこと添えたい  
場合、便利なのがこの一筆箋です。

サロンの一筆箋

1冊100枚綴 ¥150



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」1月の出会い

日時 ; 平成11年1月17日(日)  
午後1時~午後4時30分  
場所 ; 「やすらぎ」  
[大阪市淀川区三国本町2-14-3]  
内容 ; 「身近な物でクラフトアートを  
楽しみませんか」  
ハレット・チラシなどを扱い手芸をしよう  
パネラー : 吉田勝三氏  
淀川区在住、作品は東急ハンズ  
に出展

会費 ; 無し

問い合わせ先 ; 淀川区社協 ボランティア・ビューロー  
TEL 06-394-2900

■「ウイズ東淀川」1月の出会い

日時 ; 平成11年1月10日(日)  
午後1時30分~4時  
場所 ; メゾン・リベルテ  
1階デイサービスルーム  
[大阪市東淀川区東淡路1-4-49]

内容 ; 「新春だ！  
楽しく・なつかしく・新しく」

パネラー ; 古播理恵氏  
(紙芝居の「おばちゃん」)  
徳本富勝氏  
(尼ヶ崎で活躍中の盲目のシン  
ガーソングライター)  
曲目 = オリジナル(おの紀説、おの敬女、酔  
乾杯、など

会費 ; 無料

問い合わせ先 ; 鈴木 昭二  
TEL・FAX 06-340-3082

■「サロンいたみ」1月の出会い

日時 ; 平成11年1月16日(土)  
午後2時~3時30分  
場所 ; 伸幸苑(伊丹市寺本6-150)  
内容 ; 「ワインと旅のお話」  
パネラー ; 中村真典氏  
(日本航空客室マニッジャー/ワタリ)

会費 ; 500円

申込み ; 先着50名様で締切ります。  
申込みと問い合わせ先 ;  
TEL 0727-78-6765 (伸幸苑まで)

編集後記  
FROM EDITOR

車のドアを開けるやなんとも爽快な香りがして、ガソリンの臭いも車の臭いもない。自然でおしゃれな香りが実に快適でした。車の主 <sup>あるじ</sup>がおもむろに「パイナップル乗せてるんです」といった。そして次に乗ったときはレモンが籠に盛ってありました。ウン、さわやか。ときに「かおり」いっぱいこの今月号はどうでした、さわやかになりました？ (石)

編集人 ; サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.150[98.12. 5.発行] 定価¥100.  
代表 ; 上平幸雄〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365  
連絡先 ; 富田慶子〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028  
表題 ; 井上憲一・筆 文中イラスト ; 石田美禰子  
郵便振替口座 ; サロン・あべの 00950-9-26941  
印刷 ; セルフ社〒546-0044 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDEAL2F ☎06-719-8212 ☎06-719-8213

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)